

『寒暖差の激しい土地で暮らす人々』（教科書 P, 26～27）

冬の気温が世界一低くなるといわれるシベリアで、人々はどのように暮らしているのだろう？



世界でいちばん寒い場

・イルクーツクは
年間平均気温：（ **0.9** ）℃
年間降水量：（ **479** ）mm

・東京は
年間平均気温：（ **16.3** ）℃
年間降水量：（ **1529** ）mm

○ シベリアってどんなところ？

- ・ 太い丸太を組み合わせたログハウスが多く見られる。
- ・ 玄関の扉は厚い木で作られ、窓はがんじょうな二重窓になっている。

木や作物が育つ暑い夏

（夏）→ 気温が30度近くになる日もある。

衣服は薄着である。

（冬）→ 気温が-30度を下回る日がしばしばある。

厚いコートを着て大きな帽子をかぶる。

このような気候帯を
➡（ **冷帯＝亜寒帯** ）

という。

主食は、ライム美でつくった黒っぽい（ **黒パン** ）やゆでた（ **じゃがいも** ）を食べている。

このような自然の中で、（ **タイガ** ）とよばれる（ **針葉樹林** ）の森林が広がり、
松の仲間の針葉樹や、（ **白樺** ）などの（ **広葉樹** ）が多い。

都市のくらし
とレジャー

- ・ 古い木造の家に住む人もいるが、（ **高層マンション** ）にすんでいる人も多い。
- ・ 住居は、**コンクリート製のアパートや高層マンション**で過ごす。
- ・ 休日は、**郊外にある家庭菜園付きの小さな家（ダアーチャ）**で過ごす。